

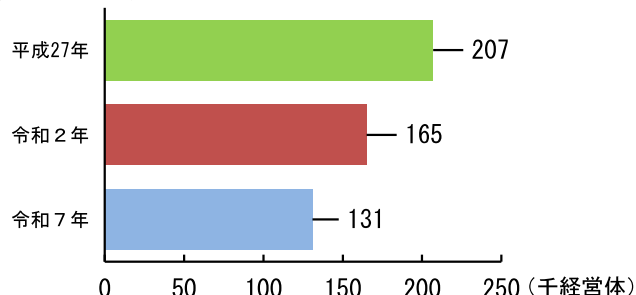


九州の農業

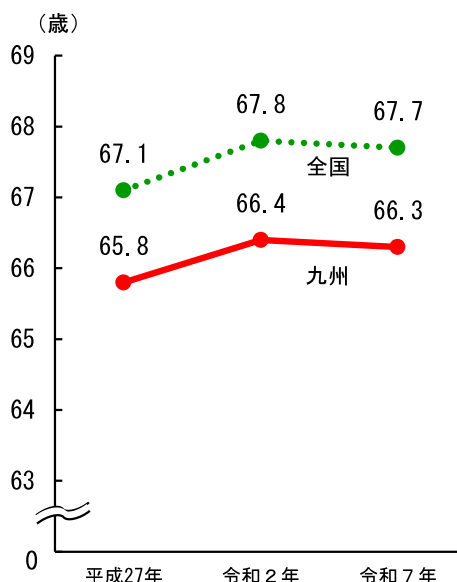
農業構造（農業経営体）

九州の農業経営体数及び基幹的農業従事者平均年齢の推移

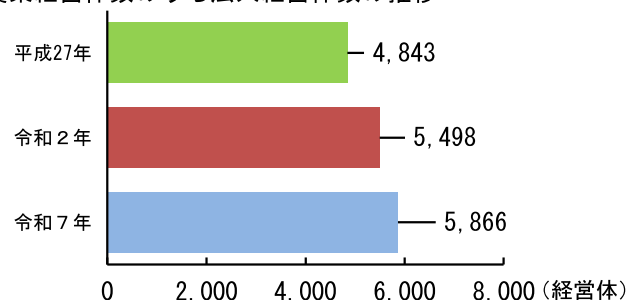
農業経営体数の推移



基幹的農業従事者平均年齢



農業経営体数のうち法人経営体数の推移



資料: 農林水産省「農林業センサス」

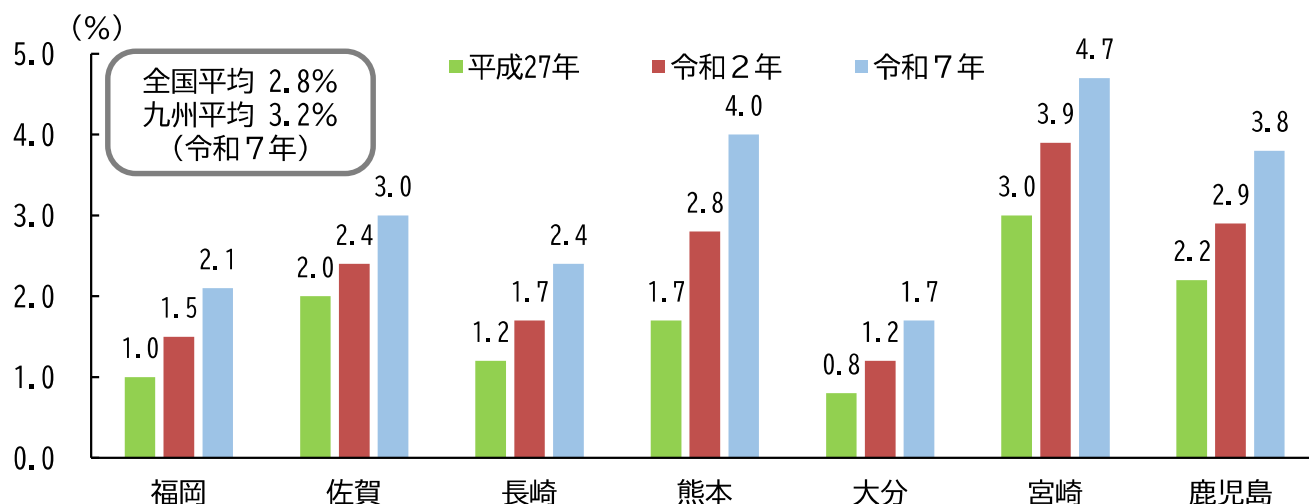
- 注: 基幹的農業従事者 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。
 基幹的農業従事者平均年齢 平成27(2015)年は販売農家の数値、令和2(2020)年、令和7(2025)年は個人経営体の数値。
 農業経営体 経営耕地面積が30a以上の規模の農業、又は販売金額50万円以上に相当する規模の農業を行う者(農作業の受託を含む。)
 法人経営体 農業経営体のうち、法人化して事業を行う者。

九州における基幹的農業従事者の平均年齢は全国に比べ1.4歳若くなっていますが、平均年齢は66歳を超え、農業者の高齢化が進んでいます。また、農業経営体数は131千経営体であり、10年前に比べて約4割減少しましたが、法人化している経営体は1.0千経営体(21%)増加しています。

また、九州各県では農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合が増加しており、佐賀県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県が全国平均を上回っています。



農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合



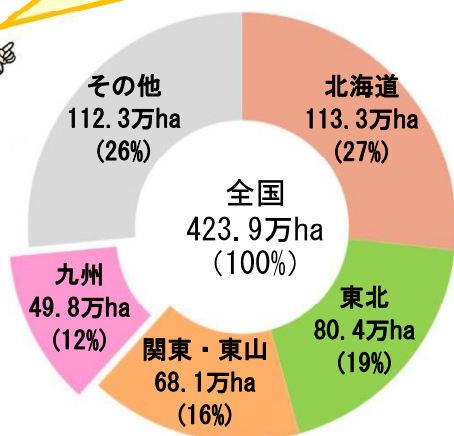


九州の農業

農地の利用状況

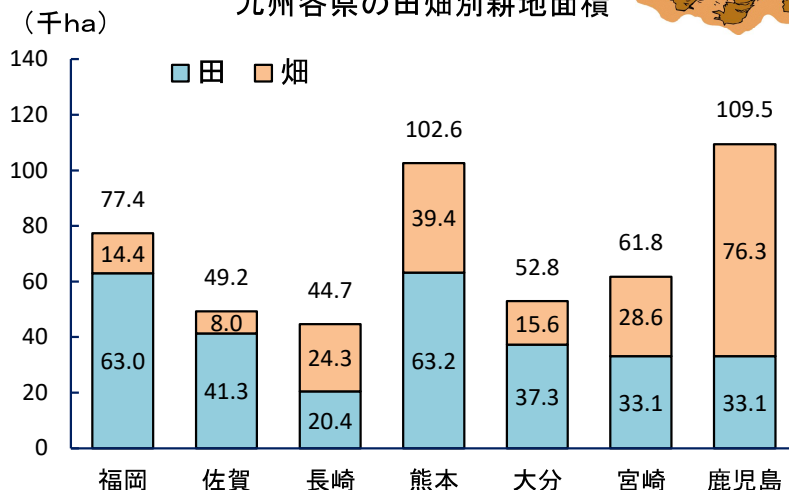
■ 全国と九州の耕地面積(令和7年) ■

九州の耕地面積は約49.8万haで、全国の12%を占めています。



注:「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

九州各県の田畑別耕地面積



注:四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合があります。

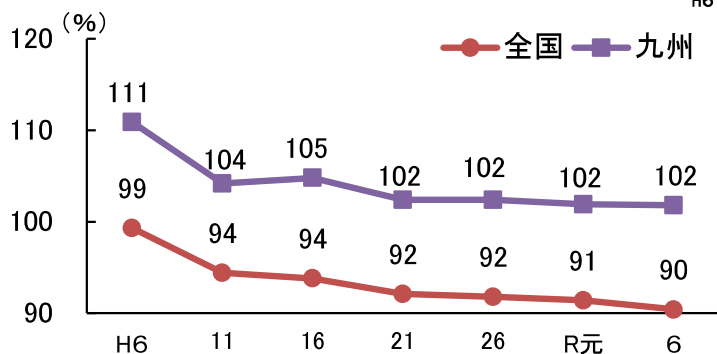
■ 耕地利用率の推移 ■

令和6年の九州の耕地利用率は102%で、全国の90%を大きく上回っています。

県別にみると、佐賀と福岡が高くなっていますが、これは水稲や大豆の後に麦やたまねぎ等の作付けが多く行われていることが主な要因です。

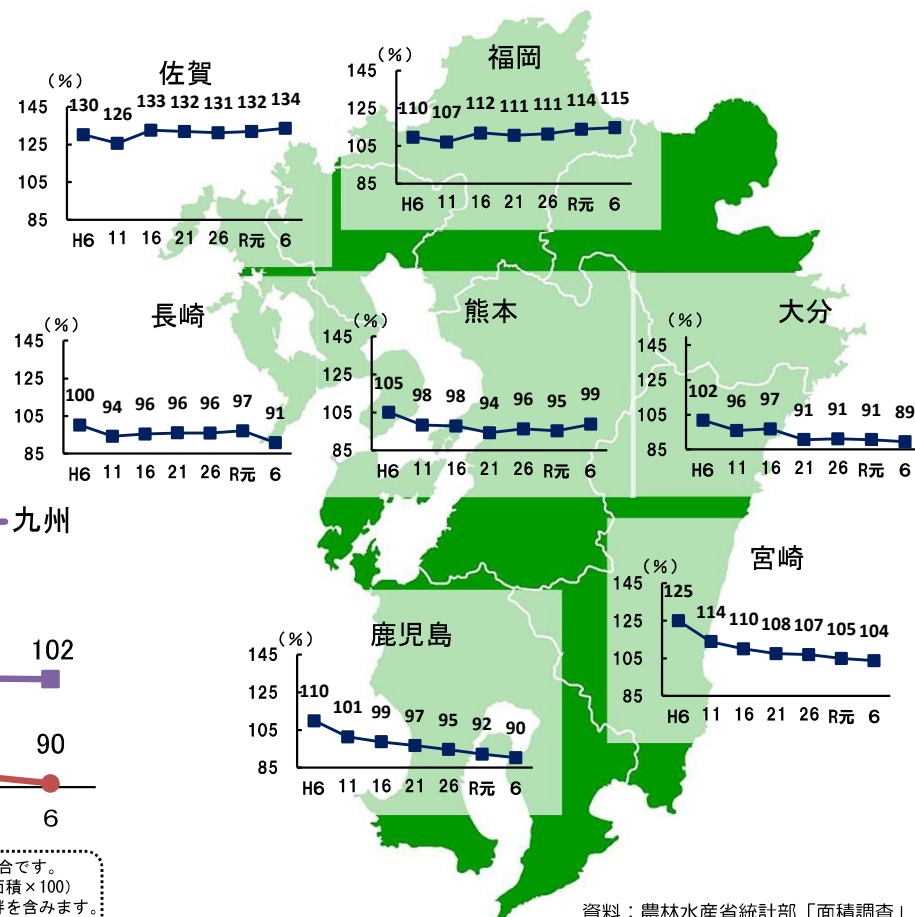


全国と九州の耕地利用率の推移



耕地利用率: 耕地面積を「100」とした作付(栽培)延べ面積の割合です。
 (耕地利用率(%) = 作付(栽培)延べ面積 ÷ 耕地面積 × 100)
 耕地: 農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい畔を含みます。
 けい 畔: 耕地の一部にあって主として本地の維持に必要なものです。

九州各県の耕地利用率の推移



資料: 農林水産省統計部「面積調査」



九州の農業

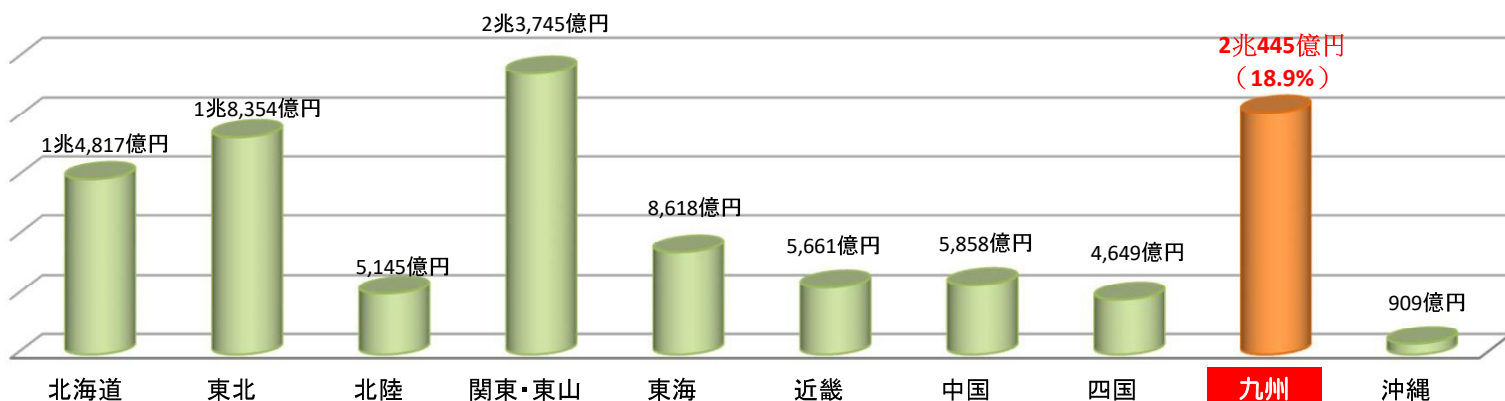
農業産出額の特徴

■ 地域別の農業産出額(令和6年) ■

☆全国の農業産出額は・・・10兆8,200億円



令和6年の九州の農業産出額は、2兆445億円で全国の約2割を占めており、九州は、関東・東山に次いで大きい地域となっています。

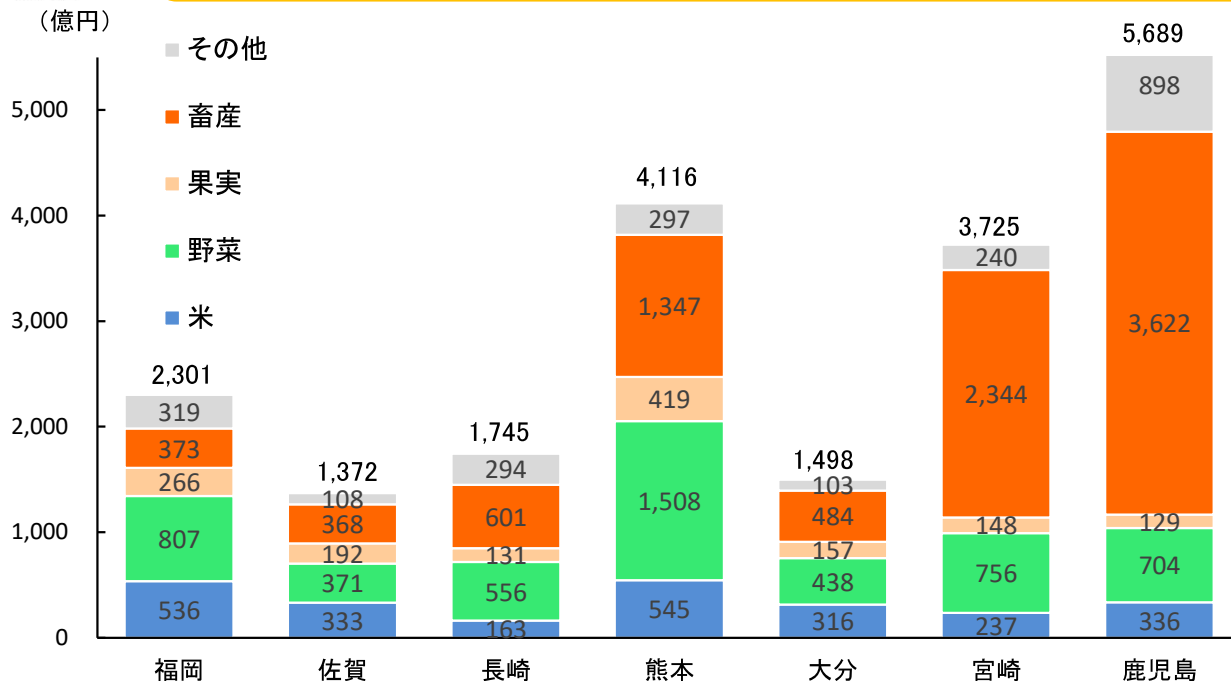


注：1 () は全国に占める九州の割合です。
2 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

■ 九州県別、部門別の農業産出額(令和6年) ■



九州各県における部門別の農業産出額をみると、畜産が大きな割合を占めており、鹿児島県と宮崎県は6割を超えています。また、施設野菜の生産も盛んなことから、熊本県や福岡県をはじめ、各県の野菜の産出額は大きくなっています。



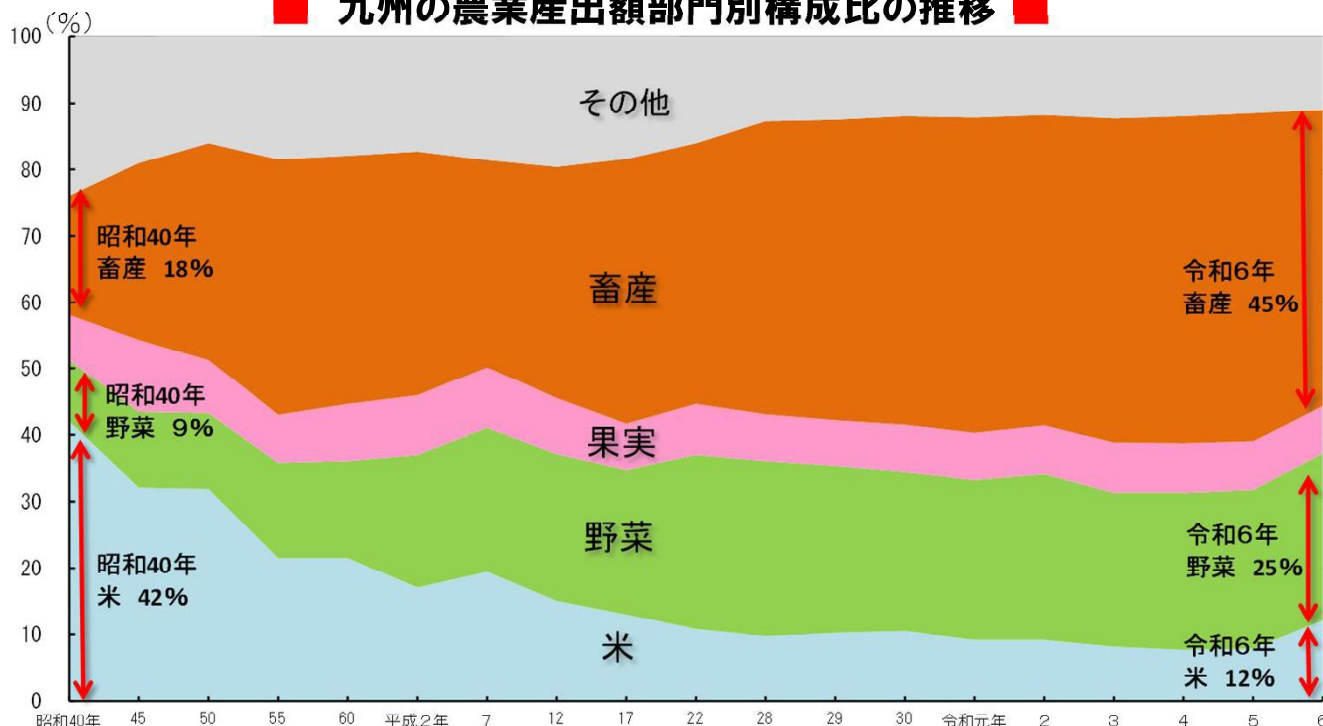
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



九州の農業

農業産出額の推移

九州の農業産出額部門別構成比の推移



九州の農業産出額を部門別構成比でみると、畜産は昭和40年には18%でしたが、令和6年には45%に、野菜は9%から25%と大幅に増加しました。一方、米は42%から12%と大幅に減少し、米を中心とした農業から野菜、畜産を中心とする農業へ推移しています。

その結果、農業産出額の全国上位10県に、昭和40年は九州は1県も入っていませんでしたが、令和6年は、畜産や野菜の生産が盛んな鹿児島県、熊本県、宮崎県の3県がランクインしています。



農業産出額の全国上位10県

単位: 億円

	昭和40 (1965) 年	平成12 (2000) 年	令和 6 (2024) 年
1 位	北海道 2,033	北海道 10,551	北海道 14,817
2 位	茨城 1,330	千葉 4,448	鹿児島 5,689
3 位	新潟 1,274	茨城 4,147	茨城 5,494
4 位	千葉 1,195	鹿児島 4,048	千葉 4,533
5 位	福島 1,063	愛知 3,419	青森 4,119
6 位	静岡 983	熊本 3,358	熊本 4,116
7 位	埼玉 966	新潟 3,141	宮崎 3,725
8 位	長野 954	宮崎 3,128	愛知 3,551
9 位	愛知 886	岩手 2,849	栃木 3,448
10 位	宮城 886	静岡 2,800	岩手 3,269

資料: 農林水産省統計部「生産農業所得統計」

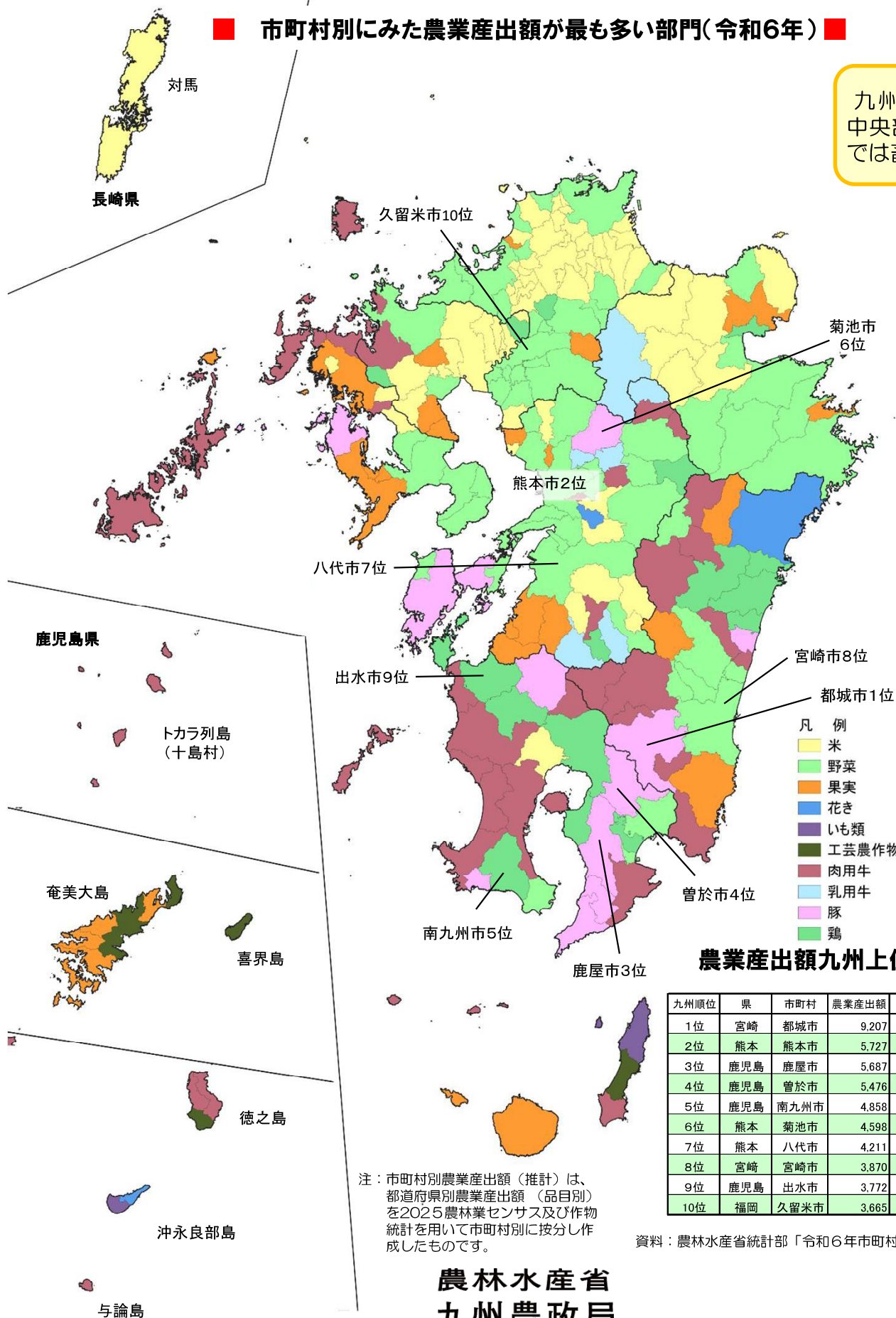


九州の農業

市町村別の農業産出額

市町村別にみた農業産出額が最も多い部門(令和6年)

九州の北部は米作、中央部は野菜作、南部では畜産が盛んです。



農業産出額九州上位10市町村

単位: 千万円

九州順位	県	市町村	農業産出額	1位部門	産出額	全国順位
1位	宮崎	都城市	9,207	豚	3,147	2
2位	熊本	熊本市	5,727	野菜	2,957	9
3位	鹿児島	鹿屋市	5,687	豚	1,636	10
4位	鹿児島	曾於市	5,476	豚	1,642	11
5位	鹿児島	南九州市	4,858	鶏卵	829	14
6位	熊本	菊池市	4,598	豚	1,236	16
7位	熊本	八代市	4,211	野菜	3,056	19
8位	宮崎	宮崎市	3,870	野菜	1,937	22
9位	鹿児島	出水市	3,772	鶏卵	1,110	25
10位	福岡	久留米市	3,665	野菜	1,569	26

注: 市町村別農業産出額(推計)は、都道府県別農業産出額(品目別)を2025農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分し作成したものです。

資料: 農林水産省統計部「令和6年市町村別農業産出額(推計)」